

## エンジン・オイル交換 [T3]

---

### カプセル・カバーを開ける

---

1. 回転ファスナを回す
2. 回転ファスナを回す
3. カプセル・カバーを開く
4. クリップを掛ける

### オイル・フィラ・キャップ取外し

---

オイル・フィラ・キャップを取外す

### サービス・ホール・カバー取外し

---

1. スクリュを取外す
2. スクリュを取外す
3. ファスナを取外す
4. ファスナを取外す
5. ファスナを取外す
6. ファスナを取外す
7. サービス・ホール・カバーを取外す

### オイル・パン・ドレイン・プラグ取外し

---

1. オイル・パン・ドレイン・プラグを取外す
  2. ガスケットを取外す
- 交換部品

### エンジン・オイル抜取り

---



**Warning:**

停#直後のエンジンは#温で#傷のおそれがあるため、作業は#分に注意する。



**CAUTION:**

エンジン・オイルの抜取りが不#分な状態でエンジン・オイルを注#すると、エンジン・オイル量が規定値よりも多くなり、オイル・レベル・ゲージの「F」の位置を超えてしまう。エンジン・オイル抜取り時は、エンジンを暖機 (エンジン・オイル温: 約 80 °C {176 °F} 以上) して、10分以上放置した後に抜取る。

**Note:**

エンジン・オイルの粘度は、エンジン・オイルの温度によって異なる。

**Note:**

エンジン冷間時はエンジン・オイルの粘度が高く、エンジン・オイルがエンジン各部からオイル・パンに戻るまで時間がかかるため、エンジン・オイルの抜取りが不#分になる。

**Note:**

エンジン・オイル温を約 80 °C {176 °F} 以上にして、10分以上放置することで、エンジン・オイルがオイル・パンに戻り、エンジン・オイルを十分に抜取ることが出来る。

**Note:**

オイル希釈 (粘度低下)、エンジン・オイル消費 (油量減) に対応するため、オイル・レベル・ゲージの「F」の位置までエンジン・オイルを注入する。

**Note:**

手順通りにエンジン・オイルを抜取り、エンジン・オイルを規定量 (参考値) 注#すると、エンジン・オイルはオイル・レベル・ゲージの「F」の位置になる。

エンジン・オイルを抜取る

## オイル・パン・ドレーン・プラグ取付け

---

1. ガasketを取付ける  
交換部品
2. オイル・パン・ドレーン・プラグを取付ける  
35.5 N·m {3.6 kgf·m, 26.05 ft·lbf}

## エンジン・オイル注入

---

**Note:**

表に記載されていないエンジン・オイルを使用すると、ディーゼル・パティキュレート・フィルター(DPF)の劣化が早くなる。

エンジン・オイルを注入する

## オイル・フィラ・キャップ取付け

---

1. オイル・フィラ・キャップ取付ける
2. エンジンを始動し、エンジン・オイル漏れを点検する

## エンジン・オイル点検前準備

---

1. エンジンを暖気する
2. エンジンを停止する
3. 車両を放置する
4. オイル・レベル・ゲージを取外す
5. オイル・レベル・ゲージのゲージ部分に付着しているオイルを拭き取る。
6. オイル・レベル・ゲージのX位置(読み取り面)を車両前方に向けて、ひねらずまっすぐに取付ける。

## エンジン・オイル点検

---



### Warning:

停#直後のエンジンは#温で#傷のおそれがあるため、作業は#分に注意する。



### CAUTION:

エンジン・オイル量を正確に測定できないおそれがあるため、エンジン・オイル量を測定するときはエンジンを暖機(エンジン・オイル温: 約80 °C{176 °F}以上)して、10分以上放置した後に点検する。

### Note:

DPFに堆積したPMを除去する時、エンジン・オイルに燃料が混ざり、油量が増えることがあるが、異常ではない。

### Note:

エンジン・オイルの粘度は、エンジン・オイルの温度によって異なる。

### Note:

エンジン冷間時はエンジン・オイルの粘度が高く、エンジン・オイルがエンジン各部からオイル・パンに戻るまで時間がかかるため、エンジン・オイル量を正確に測定できない。

### Note:

エンジン・オイル温を 約80 °C{176 °F}以上にして 10分以上放置することで、エンジン・オイルがオイル・パンに戻り、エンジン・オイル量を正確に測定できる。

### Note:

車両を水平な場所に置いて作業を行う。

1. オイル・レベル・ゲージを取外す
2. エンジン・オイル量を点検する
3. オイル・レベルが下限位置以下の場合は、エンジン・オイルの漏れがないか点検し、漏れがなければエンジン・オイルを補充する。

### Note:

オイル・レベルが下限位置以下の場合は、エンジン・オイルの漏れがないか点検し、漏れがなければエンジン・オイルを補充する。オイル・レベルが下限位置よりも下方の場合は、オイル・レベル・ゲージでエンジン・オイル量を確認しながら、エンジン・オイルを補充する。

4. オイル・レベルが下限位置以下の場合は、エンジン・オイルの漏れがないか点検し、漏れがなければエンジン・オイルを補充する。

### Note:

オイル・レベルが下限位置の場合は、エンジン・オイルを1L{1 US qt, 0.9 Imp qt}補充する。オイル・レベル・ゲージの下限位置から上限位置間のエンジン・オイル量は 1Lである。

5. オイル・レベルがX位置よりも上方の場合は、エンジン・オイルを交換する。

### Note:

オイル・レベルがX位置よりも上方の場合は、エンジン・オイルを交換する。エンジン・オイルへの燃料混入が考えられる。

6. オイル・レベル・ゲージ を取付ける

## サービス・ホール・カバー取付け

---

1. サービス・ホール・カバーを取り付ける。
2. ファスナを取付ける。
3. ファスナを取付ける。
4. ファスナを取付ける。
5. ファスナを取付ける。
6. スクリュを取付ける。
7. スクリュを取付ける。

## カプセル・カバー閉

---

1. クリップを掛けてある場所から外す。
2. カプセル・カバーを閉める。
3. 回転ファスナを回す。
4. 回転ファスナを回す。

## エンジン・オイル・データ・リセット

---

### Note:

ECM (e-SKYACTIV PHEV付#) またはPCM (e-SKYACTIV PHEV無#) が記憶しているエンジン・オイル交換時期の積算データをリセットする必要があるため、エンジン・オイルを交換した場合はエンジン・オイル・データ・リセットを#う。

エンジン・オイル・データをリセットする。